

言語社会研究科韓国学研究センター

大学院生 韓国学研究奨励費

第7期（令和2年4月～令和2年9月分）募集のお知らせ （博士課程）

令和2（2020）年3月2日
一橋大学大学院言語社会研究科
韓国学研究センター

言語社会研究科では、平成28（2016）年12月1日に、研究科内センターとして、「一橋大学大学院言語社会研究科韓国学研究センター」（以下「センター」）を設立しました。これは、本研究科が受け入れた韓国学中央研究院からの受託研究 *Korean Studies in Search of Possibilities for Historical Reconciliation : The Global Spectra of Experience, Memories, and Co-existence* の事業として設置されたものです。センターは大学院生の研究支援を事業の柱に据えており、センター事業の趣旨に合う大学院生に研究奨励費を支給します。受給を希望する者は、以下の要領にしたがい、申請を行ってください。

募集要項

- 申請できる学生は、大学院言語社会研究科博士課程に在籍している学生で、在籍年次を問わず、以下の領域、テーマの研究を行っているものを対象とします。
 - 韓国の文化、社会、歴史などに関する人文学研究
 - 韓国を中心として、人文学のアプローチで周辺諸地域と比較対照を行う研究
 - 韓国を含む北東アジア地域を広くケースとする人文学研究
 - 韓国を含む北東アジア地域を念頭に置いた理論研究※上記は審査に際しての優先順位でもあります。
- 奨励費は6ヶ月を単位として、20万円とします。支給決定後に一括して支給します。
※今期は令和2年4月～令和2年9月分として支給するものです。
- 受給期間は最大通算1年間までとし、連続受給を希望する場合も改めて申請を行ってください。
- 支給人員は4名とします。
- 申請には初回は様式(1)、2回目は様式(2)により行ってください。支給期間終了時（連続受給を希望し、改めて申請する場合も含む）には様式(3)による研究成果報告書を提出してください。
- 奨励費の支給決定は、一橋大学言語社会研究科韓国学研究センター運営委員会の厳正な選考を経て、その結果を本人に通知します。
- 奨励費受給期間における研究成果には「一橋大学言語社会研究科韓国学研究センター研究奨励費」による研究成果である旨を必ず記載してください。
- 休学、退学すると受給資格を失うことになります。やむを得ない事情で休学、退学する場合には、奨励費の返還を求めることがあります。
- 9. 申請書の提出先 言語社会研究科事務室**
- 10. 申請締め切り 2020（令和2）年3月27日（金）厳守**
- 問い合わせ先 言語社会研究科韓国学研究センター長

イ・ヨンスク教授 ys.lee@r.hit-u.ac.jp

(様式1)

令和 年 月 日

一橋大学大学院言語社会研究科
韓国学研究センター 御中

言語社会研究科大学院生韓国学研究奨励費（博士課程）申請書

このたび研究奨励費の支給を希望するので、下記により申請いたします。

フリガナ	学籍番号	入学年
氏名	LD	年
印		
本人住所 〒	—	
選考結果などの連絡先 ※必ず連絡の取れる連絡先を記してください		
電話番号	携帯電話	
E-Mail		

現在の研究テーマ ※修士論文のテーマ、そこからの発展、方向性、どのようなテーマで博士論文を執筆する予定かなど、具体的に記してください。

--

研究テーマと韓国学研究との関連性、意義、研究の将来的な展望など

--

本奨励費を必要とする理由 ※奨励費の活用法などを簡潔に記してください。

--

博士課程修了後の計画および特に強調したい・説明を要することなどを記してください。

--